

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
 - ②本大会では、日本陸上競技連盟競技規則 TR 16. 7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
 - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR 5. 2～TR 5. 6により、800m 未満の種目とフィールド種目（三段跳を除く）は 20mm 以内、800m 以上の種目および三段跳は 25mm 以内とする。また、競歩競技は 40mm 以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- 2 練 習
- ①ウォームアップは、第2陸上競技場で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。また、使用した器具は元の場所に返却すること。
 - ②陸上競技場の雨天走路での練習は認めない。
 - ③投てき種目の練習は、招集完了後、陸上競技場で行う。役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。また、第2陸上競技場での投てき練習は危険防止の為、一切、認めない。
 - ④大会参加者以外の第2陸上競技場での練習は認めない。また、集団走は禁止とする。
 - ⑤競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止とする。
 - ⑥開門時刻（練習開始時刻）は第2陸上競技場が7時、第1陸上競技場が8時とする。
- 3 招 集
- ①招集所は陸上競技場の正面玄関前に設ける。
 - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種 目	招集開始	招集完了	現地招集
トラック種目	30分前	20分前	10分前
跳躍種目（棒高跳を除く）	60分前	50分前	15分前
棒高跳	×	×	50分前
投てき種目	60分前	50分前	15分前

- ◎混成競技の第1種目の招集開始時間及び完了時刻は下記の通りである。但し、2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控え所（男子は警備室・女子は第2救護室）で行う。控え所ではマスクを着用し、感染症予防対策に努める。また、飲食は控え所以外で行う。

種 目	招集開始	招集完了	現地招集
混成第1種目（トラック）	30分前	20分前	10分前
混成第1種目（フィールド）	60分前	50分前	15分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに招集所に準備されたスタートリストに○をつける。競技者は自分の組の招集開始時刻から招集完了時刻にて、シューズの靴底の厚さの検査を受けること。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、現地招集時間に現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
- ⑦出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出する。

4 入退場

- ① 陸上競技場には選手および競技役員以外の入場は認めない。選手は入場の際、「アスリートビブス（ナンバーカード）付きユニフォーム」を提示する。
*付き添いが付けられない為、着替えやシューズはスタート地点に残すことになるので各自、まとめられる袋などを用意することが望ましい。その際、雨天になることも想定して準備する。
- ②陸上競技場には、各チーム・学校には2名、個人出場者には1名の入場を認める。その際、TIC（正面玄関）にて、必要事項を記入し健康観察カードを提出のうえ、貸し出したIDカードを着用しなければならない。また、貸し出したIDカードは毎日、TICに返却すること。入場は、2階メインスタンド裏のゲートから入り、メインスタンドにはゲート2から入る。芝生スタンドには100mスタート側連絡通路より入る。それぞれ1ヶ所のみ入場となる。また、メインスタンドでは中斷より上部、芝生スタンドでは最上部（コンクリート部分）で観戦する。
- ③ コーチングエリアを4ヶ所、設置する。 **コーチングエリアに入れる者はIDカードを持っている者とする。**（メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド）、コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ④ 入場は原則第3ゲート（200mスタート地点）とする。但し次の種目に参加する選手は第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用する。
*400m・800m・1500m・400mH・3000mSC・Aゾーン使用フィールド種目

*4×100mRに出場する選手の入退場は、1走者が第1ゲート
2・3・4走者が第3ゲートとする。

- ⑤ 混成競技に出場する選手が混成控え所に向かう際は、配付されたIDカードを着用して正面玄関より入場する。IDカードは第1種目の現地招集時に配付する。
- ⑥ 退場はトラック競技出場選手はレース終了後、荷物を取りに行き、極力ユニフォーム姿で入場したゲートより速やかに退場する。フィールド競技出場選手は競技終了後、入場したゲートより速やかに退場する。
- ⑦ 荷物を取りに行く時はメインスタンド前が通行禁止であるので、バックストレートを通行し、スタート地点に戻り退場する。
- ⑧ フィールド競技においては競技役員の指示に従い入場した通用門から退場する。
- ⑨ 更衣室および雨天走路内トイレの使用は女子のみとする。その際、更衣室は更衣のみに使用し、アスリートビブス付きユニフォームを提示し正面玄関より入場する。但し、競技中の選手については雨天走路内の男子トイレの使用は認める。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのぼして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

- ## 6 番組編成
- ① トラック競技の予選の組及び走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
 - ② トラック競技の準決勝、決勝の組及び走路順は、番組編成員が抽選し招集所に掲示する。
 - ③ トラック競技の準決勝及び決勝の出場者を同タイム者の中から決める場合、800mまでの種目とリレー種目については、写真判定を細部まで読み取り、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定し出場者を決める。この方法により判定できない場合は、同タイムとなった該当の競技者、チームまたはその代理人によって抽選を行い、出場者を決める。

7 棒高跳支柱移動申告について

競技者は、自分が希望する支柱の位置を所定の「棒高跳支柱移動届」に記入し、跳躍審判員に提出する。「棒高跳支柱移動届」用紙は招集所で配付する。

8 走高跳、棒高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5		
男子走高跳	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	以降 3cm		
女子走高跳	1.45	1.50	1.55	以降 3cm				
男子棒高跳	4.00	4.10	4.30	4.50	4.70	4.80	以降 5cm	
女子棒高跳	2.60	2.70	2.90	3.10	3.20	3.30	3.40	以降 5cm
十種走高跳	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降 3cm
十種棒高跳	2.60	2.80～3.40 は 20cm 3.40～4.10 は 10cm 以降 5cm						
七種走高跳	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	以降 3cm	

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

9 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

10 リレー競技について

①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。リレーオーダー用紙は招集所に用意する。

②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用する。

11 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り検査を受けて個人ものを使用する。

12 表彰 第1位には選手権章を、第1位から第3位までには賞状を授与する。
表彰式は行わないので第1位から第3位までの選手は賞状を第1会議室まで、取りにくる。

13 抗議 日本陸上競技連盟競技規則 TR8による。

14 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

① 上半身の衣類 製造会社/ロゴ：1ヶ所・40cm²まで文字高さ5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つつまで。

② 下半身の衣類 製造会社/ロゴ：1ヶ所・40cm²まで文字高さ5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで1つつまで。

③ バッグ・タオル（ブランケット含む）

製造会社/ロゴ：1個・最大40cm²まで文字高さ5cm以内

④ ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つつ）

製造会社/ロゴ：1個・最大6cm²まで文字高さ3cm以内

15 開門・場所取りについて

① 陸上競技場

スタンド裏コンコースとトイレを開放する。スタンド、芝生スタンド、雨天練習場、雨天練習場男子トイレ、男子更衣室は利用できない。（女子更衣室は女子の更衣のみ）開門時刻は8時とし、各チームの代表者2名が入場する。代表者2名は7時50分までスタンドへの入場スロープグラウンド側のチェーンの外にソーシャルディスタンスを確保して並ぶ。

② 第2陸上競技場

競技または、ウォーミングアップのみの利用とし、開門時刻は7時とする。出入り口は陸上競技場側の1カ所とする。テントの設置、場所をとることはできない。ただし、テントの骨組みだけは置いて帰ることができる。

③ その他のテント設置可能箇所

体育館前石畳、16号側緑地帯、モノレール下とする。体育館の軒下の場所取りは禁止する。

④ その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は1カ所限定とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。
- ・控え場所での3密の回避、および消毒を各チームで徹底する。

16 その他

- ① 横断幕・のぼり旗等については設置しない。
- ② 各チームの荷物はすべて毎日、持ち帰ること。競技場内保管は一切、認めない。
但し、テントの骨組みだけは第2陸上競技場に置いて帰ることができる。
- ③ 携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ④ 競技場内では雨天時以外は傘の使用は認めない。
- ⑤ 園路での集団走は厳に慎む。
- ⑥ 3000mscに出場する選手は危険防止の為に必ずスパイクを着用する。
- ⑦ プログラムの記載内容の訂正は早めにTICへ届け出る。
- ⑧ セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ⑨ 控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。
- ⑩ 更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分注意する。更衣室内の場所取りは禁止する。
- ⑪ ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
- ⑫ ゴミは原則として各自で責任を持って持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨てても良い。
- ⑬ 競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。

⑭ アスリートビブスについて

一般・中学生・大学生についてはアスリートビブスを配付する。但し4月の千葉県陸上競技記録会に出場した者は、その時に配付されたアスリートビブスを使用する。高校生は高体連登録のものを使用する。

⑮ 各種目上位6名（混成競技は上位3名、女子3000mSCは上位3名）に入賞した者は第94回関東陸上競技選手権大会への出場権を得る。走高跳、棒高跳で上位6位までが同成績により7名以上いる場合は、上位6名を決めるための決定戦を行う。

6位入賞者は関東陸上競技選手権大会の出場・不出場にかかわらず、連絡事項があるので必ず第1会議室まで来ること。

< 関東陸上競技選手権大会の申込について >

個人申込書・プログラム購入申込書などに必要事項を記入の上、参加料・プログラム代金を添えて現金書留で7月8日（木）午後4時必着で下記へ郵送する。

〒263-0011 千葉県稲毛区天台町323

千葉県総合スポーツセンター （一財）千葉陸上競技協会 宛

TEL 043-252-7311

コロナウイルス感染リスク軽減について

1. 3密（密閉・密集・密接）の回避

①ソーシャルディスタンスの確保

*人と人との身体的距離のこと、できるだけ2 m最低1 mを目安に間隔を空ける。

②こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い手を清潔に保つ。物の受け渡しは極力避け、避けられない場合も、手洗い・手指の消毒をする。

2. 共通事項

①競技会1週間前から体調管理および検温を行い、指定の体調管理チェック表に記入する。

*以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。

・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

*提出前に、提出するデータをコピー又は写真に撮り、自身でも保管すること。

②大会当日、来場者すべての体調管理チェック表を正面玄関前の競技者受付に提出すること。団体の時は代表者がまとめて提出しても良い。

*提出されない場合は参加（来場）を認めない。

③運動時以外のマスクの着用、手洗い・洗顔を徹底する。但し、マスク着用による熱中症に気をつける。

④マイタオルを持参すること。

⑤トイレ使用後は便座の蓋を閉めてから流すこと。

⑥ゴミは各自持ち帰る。

⑦競技会参加者は競技会参加後、2週間以内に発熱などの症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの開催自治体の保健所（医師等）に報告・相談し、大会主催者に報告する。

3. 競技者

①競技者は原則競技開始時間に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅する。

②ウォーミングアップは個別に行う。

③競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。

④更衣室の滞在は短時間とし、シャワールームの使用を禁止とする。

*更衣室の開放は女子のみとする。

⑤運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑥体液の付着したゴミは自己責任で処理する。（基本的に持ち帰り）

4. チーム関係者・応援・観客

- ①無観客で実施する。
- ②声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ③混雑を回避するため、競技者に付き添う者の競技場への入場を禁止とする。また、ウォーミングアップ場への立ち入りを原則禁止とする。
- ④ウォーミングアップ会場の観戦を禁止する。
- ⑤競技終了後は速やかに帰宅すること。（ミーティングを行う必要がある場合は、三密を避けること）

5. トラック種目注意事項

- ①スタート位置やフィニッシュ後に留まることを短時間とする。
- ②レース中のマスク着用は義務づけはないが、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。但し、マスク着用による熱中症に気をつける。
- ③レース後、手洗い・洗顔を徹底する。

6. フィールド種目注意事項

- ①待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保する。
- ②投てき競技で用具を共用した場合、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。また、試技の前後に手指の消毒を実施し、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意する。跳躍種目における着地マットや砂場も同様である。
- ③滑り止め（炭酸マグネシウム）利用については、共有しない方法で実施する。競技役員から適量を受け取る方法や小分けにして競技者に渡す方法、また競技者の持ち込みも可とする。
- ④助走練習、投てき練習時に並ぶ時はソーシャルディスタンスを確保する。
- ⑤競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

7. 個人情報取得の同意

①個人情報の取得目的に明記

- ・競技運営目的以外に感染症予防対策目的として個人情報を取得する旨の同意を取得する。

②個人情報の第三者提供

- ・大会主催者が保健所・医療機関等の第三者へ情報を提供することへの同意を取得する。

③個人情報の保管期間

- ・取得した個人情報は大会終了後少なくとも1か月以上とする。
- ・保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに廃棄をおこなうとともに、廃棄した証を保管する。